

大阪府小規模事業者等支援施策評価審議会 議事概要

- 1 令和7年11月14日(月曜日)午後2時から午後4時
- 2 マイドームおおさか 4階 研修室
- 3 議事

(1) 令和8年度 地域活性化事業の採択方針について【審議事項】

(評価委員)

○今年度の変更点としては、補助対象事業についての基本的な考え方のみであれば、問題ないと考えている。

○今回、採択方針の資料の中に、府として地域活性化事業の新陳代謝を図るということを明記されたのは重要なことだと考える。継続の事業計画書の中には、変更点が見えにくいものもある。

(事務局)

○全事業を新規事業として提出することはマンパワーとして現実的ではない面がある。また、地域の事業者に好評であるため継続している事業もある。そのため、府としては団体との事業計画書のヒアリングを通じて、特に継続事業をプラスアップするよう意識している。

○また、府施策連携事業については、担当部署とも調整しながら、改善を図っていきたいと考えている。

(評価委員)

○今年度の中小企業白書では、「経営者の経営力の向上」が重要との記載があり、「経営者のネットワーク」の部分が取り上げられていた。「経営談義」が行えるような場所を提供することも、地域活性化事業を実施するうえで重要なことではないか。

(事務局)

○全事業の中には、若手経営者の交流事業も実施している団体もある。このような事業を通じて、経営者のネットワーク構築の一助となればと考える。

(評価委員)

○今後、採点の部分については企画力の部分を上げていくことも必要になっていくのではないか。

(評価委員)

○企画力について、どれだけ事業を変化させたかという点を評価できるのもいいと思う。規模に関係なく、どれだけ頑張ったかという観点での評価もいい。

(事務局)

○委員から意見も踏まえて検討してまいる。

(2) 事務の共同処理に係る事業の進捗状況について【審議事項】

(評価委員)

○社内のシステム改修については費用感が大切だと考える所以、早めに出してもらった方が良いと考える。また、システム化については、早く慣れもらうことも大切である。

(事務局)

○一つ目の費用感の部分については、検討会の中でも仕様が固まってないため、見えないところがある。また、単会によって導入しているシステムもバラバラの状況下のため、最初は旧システムと新システムを並行して動かしていかないといけないと考えている。

(評価委員)

○システム移行はなかなか難しいので、こちらから後押しして進めていくことも必要な場合があるだろう。府で費用負担している部分があるのであれば、なおさらである。

(事務局)

○事務局としても、今回の審議会でいただいたご意見も検討会で共有し、来年度の事業計画書にしっかりと反映していきたいと考える。

(3) 令和7年度 意見交換の結果について【報告事項】

(評価委員)

○事業評価に関しては、団体間での公表であるならば、切磋琢磨を促す意味でも公表しても良いのではないか。それぞれの団体間の交流などが生まれるきっかけにもなるのではないか。

(評価委員)

○上位の順位を公開することについては、モチベーションに繋がるところもある。ご一考を。

(評価委員)

○私も順位については、団体間であれば構わないと考えている。順位がすべてではない。ある側面からの数字でしかない。参考値の一つとして使ってもらえる方が良いのではないか。

(事務局)

○全体的な数字としては、府としては悪い訳ではないと考えている。

○公表するかどうかについては、府としてどういう目的でこの評価を使ってほしいのかを団体へ説明しながら、進めていきたいと考える。

(4) 令和7年度 大阪府小規模事業者等支援施策評価審議会スケジュール【報告事項】

・特に意見なし。

閉会